

# 県政報告

## 商店街の課題解決へ

### 県が空き店舗利用支援

神奈川県議会議員  
民主党・かながわクラブ きしへ 都

県内商店街の課題の一つは、空き店舗解消と県や国には空き店舗の増加があり、様々な取り組みの場作ります。商連かながわの平成26年度の調査によると、空き店舗のない商店街は2割弱で、平成20年度調査の約3割から減っています。

空き店舗を活用し、コミニティイカフェのような拠点を設け、にぎわいをうめ「今後、県は空き店舗を活用

して、にぎわい創出の拠点を整備する場合、地元の市町村と連携して支援を行っていく」と答弁しました。

くよう、商店街にコンサルタント等の専門家を派遣し、アドバイスをしていく方針も示しました。さらに、拠点に体力測定コーナーなどを設けて未病を治す取り組みを進めたり、子育て支援を行う場合などは、県の地域商業ブランド確立総合支援事業を活用し、機器の整備などを支援していくとのことです。

商店街の空き店舗活用の成功事例が多く生まれ、広く発信されて地域の活性化につながるよう、引き続き取り組んでいきます。

みなさまからのご意見、  
ご要望をお待ちしています

きしへ都政務活動事務所

南区通町2-25-3 千々輪ビル1階

☎045-341-3385

<http://kishibe-miyako.com/>

